

2005年12月21日

東日本旅客鉄道株式会社  
東京モノレール株式会社  
東京臨海高速鉄道株式会社  
パスネット・バス連絡協議会  
株式会社パスモ

## 2007年3月 SuicaとPASMOは、相互利用サービスを開始します。 ～首都圏の交通機関のシームレスなご利用を実現します～

- 東日本旅客鉄道(株) (以下「JR東日本」、東京モノレール(株)、東京臨海高速鉄道(株)と(株)パスモ (以下「パスモ」) は、2007年3月より順次、お互いのご利用可能エリアを乗り降りできる「IC乗車券の相互利用サービス」を開始します。
- これにより、首都圏のJR・公民鉄をはじめ路線バスなどにも1枚のIC乗車券でご乗車いただけます。(利用可能な交通事業者は別表参照)
- この「IC乗車券の相互利用サービス」にあわせて、こども用SFカードなど新たなサービスを開始します。(「相互利用サービス」の概要は別紙参照)
- 電子マネーの発行事業者であるJR東日本とパスモは、電子マネー事業においても提携し、2007年3月よりお互いの加盟店でご利用いただける「電子マネーの相互利用サービス」を開始します。\*
- JR東日本とパスモは、交通分野と電子マネー分野における「相互利用サービス」を通じて、首都圏における「シームレスな移動」と「利便性の高い決済手段」を提供し、首都圏の「新しいライフスタイル」の構築に貢献してまいります。

(※) (株)パスモは、法令に基づき申請中です。

首都圏発。日本が変わる。  
乗り物、買い物、これ一枚。



【交通乗車券】  
首都圏のJR・公民鉄・路線バスなどが  
乗り降り可能に！

「シームレスな移動」  
+「利便性の高い決済手段」  
=「新しいライフスタイル」

【電子マネー】  
Suica・PASMOの電子マネー加盟店で  
ショッピングが可能に！



## 首都圏交通 IC カード 利用可能交通事業者一覧

**S u i c a (鉄道・バス事業者：6 事業者)**

埼玉新都市交通 東京モノレール 東京臨海高速鉄道 東日本旅客鉄道  
 ジェイアールバス関東 仙台空港鉄道

**P A S M O (鉄道事業者：26 事業者)**

伊豆箱根鉄道 江ノ島電鉄 小田急電鉄 京王電鉄 京成電鉄  
 京浜急行電鉄 埼玉高速鉄道 相模鉄道 首都圏新都市鉄道 新京成電鉄  
 西武鉄道 多摩都市モノレール 東京急行電鉄 東京地下鉄 東京都交通局  
 東武鉄道 東葉高速鉄道 箱根登山鉄道 北総鉄道 ゆりかもめ  
 横浜高速鉄道 横浜市交通局 横浜新都市交通  
 関東鉄道☆ 千葉都市モノレール☆ 舞浜リゾートライン☆ ☆…ICカードシステム導入時期は未定

**P A S M O (バス事業者：73 事業者) ★**

伊豆箱根鉄道※1 江ノ島電鉄※1・2 小田急バス 神奈川中央交通※2 川崎市交通局  
 川崎鶴見臨港バス※2 関東バス※2 京王電鉄バス※2 京成バス※2 京浜急行バス※2  
 国際興業 相模鉄道※1・2 西武バス※2 立川バス※2 千葉交通  
 東急バス 東京都交通局※1 東武バスセントラル※2 西東京バス※2 箱根登山バス※2  
 日立自動車交通 富士急行※2 船橋新京成バス※2 平和交通※2 山梨交通  
 横浜市交通局※1

※1…鉄道・バス両事業においてIC乗車券システムを導入する事業者

※2…利用可能路線には、次のグループ会社の路線も含まれます。

江ノ島電鉄（江ノ電バス）

神奈川中央交通（湘南神奈交バス・津久井神奈交バス・横浜神奈交バス・相模神奈交バス・藤沢神奈交バス）

川崎鶴見臨港バス（臨港グリーンバス）

関東バス（ケイビーバス）

京王電鉄バス（京王バス東・京王バス南・京王バス中央・京王バス小金井）

京成バス（千葉中央バス・千葉海浜交通・千葉内陸バス・東京ベイシティ交通

ちばフラワーバス・ちばレインボーバス・ちばシティバス・ちばグリーンバス

京成タウンバス・京成トランジットバス・市川交通自動車）

京浜急行バス（羽田京急バス・横浜京急バス・横須賀京急バス）

相模鉄道（相鉄バス）

西武バス（西武自動車・西武観光バス）

立川バス（シティバス立川）

東武バスセントラル（朝日自動車・茨城急行自動車・国際十王交通・川越観光自動車・東武バスイースト・

東武バスウエスト）

西東京バス（多摩バス）

箱根登山バス（小田急箱根高速バス）

富士急行（富士急湘南バス・フジエクスプレス・富士急山梨バス・富士急平和観光・富士急シティバス・

富士急静岡バス）

船橋新京成バス（習志野新京成バス・松戸新京成バス）

平和交通（団地交通）

★バス事業者のICカードシステム導入については、2007年3月から順次導入・拡大してまいります。具体的な導入計画については、各事業者で検討中ですので、詳細が決まり次第、別途ご案内いたします。

**合計105事業者(鉄道・バス兼業事業者を除いた合計は、100事業者)**

## 『相互利用サービス』の概要

## I. 主なサービス

## (1) 鉄道における利用

自動改札機にIC乗車券をタッチすることで、自動的に運賃を差し引きます。

- 定期区間外から乗車した場合や定期区間から乗り越した場合にも、自動的に運賃を計算し、精算金額を差し引きます。

## (2) バスにおける利用

バスの車載機にIC乗車券をタッチすることで、自動的に運賃を差し引きます。

## (3) 定期券の発行

鉄道およびバスの定期券を発売いたします。

- 鉄道では、事業者をまたがる連絡定期券も発売いたします。
- バス定期券のICカードでの発売は一部事業者でのみ実施いたします。

## (4) チャージ

駅のICカード対応自動券売機やバス車載機などでチャージが可能となります。

- チャージの上限金額は2万円です。

※ これらのサービスは、「PASMO」、「Suica」、「モノレールSuica」、「りんかいSuica」、および「ビュー・スイカカード」などの多機能カード、「モバイルSuica」でご利用いただけます。

※ 定期券は、記念カードやSuicaイオカードなどには発売できません。

## II. 『相互利用サービス』とあわせてスタートする新サービス

## (1) こども用SF(ストアードフェア)カード

- SFカードに「こども用」を設定します。自動改札機・バス車載機にタッチすることで、小児用運賃を自動的に差し引きます。
- 小児用定期券において、区間外から乗車した場合や区間外に乗り越した場合にも、自動改札機にて小児用運賃を計算し、自動的に精算金額を差し引きます。
- こども用SFカードは、氏名・性別・生年月日などの登録が必要です。

※ストアードフェアとは、ICカード乗車券に記録される金銭的価値で、旅客運賃の支払い、乗車券類との引き換え、電子マネーに充当するものをいいます。

## (2) 記名SFカードの設定

- 記名SFカードを設定します。記名SFカードには、氏名・性別・生年月日などの登録が必要です。
- 記名SFカードを紛失した場合には、カードの利用停止日の最終のSF残高を保証して再発行いたします。※紛失再発行手数料などが必要です。

## (3) オートチャージサービス

- SFの残額が予め設定した金額を下回った場合に、自動改札機にタッチすることで設定金額を自動的にチャージいたします。(一部ご利用できない駅があります。)
- オートチャージによるチャージ額はクレジット決済となります。
- オートチャージが利用可能なカードが必要です。  
※オートチャージサービスは、ビュー・スイカカードで2006年中に先行して開始する予定です。

## (4) 新しいバスのサービス

- お客さまのご利用に応じた還元の仕組みを構築中です。運用面・適用面については、各事業者で検討いたします。

以上